

彩雲

あ や ぐ も

AYAGUMO

2016

vol.
115

発行日 7月11日

Contents

巻頭言……………	1
響きあうまちと学校……………	2
1学期の行事……………	3～6
クラブ活動報告……………	7～10
TOPICS……………	11

ANJO GAKUEN



学校法人安城学園 安城学園高等学校

〒446-8635 安城市小堤町4-25 TEL.0566-76-5105(代) <http://www.angaku.jp/>

poem
巻頭詩

「なぜ」

川崎 洋

なぜ 風は

新しい割ばしのように かおるのだろう

なぜ 鳥は 空を滑れるのだろう

なぜ 夏蜜柑は酸っぱいのだろう

なぜ 海は

色を変えるのだろう

なぜ たった一人の人を愛するようになるのだろう

なぜ 涙は嬉しいときにも出るのだろう

なぜ フリュートはあんなに遠くまでひびくのだろう

なぜ 人はけわしい顔をするのだろう

なぜ ギターの弦は5本でなく7本でなく6本なのだろう

なぜ

なぜ

なぜ

そして 人は なぜ

いつの頃からか

なぜ

を言わなくなるのだろう

principal
speech

巻頭言

「なぜ?」という疑問に挑み続けよう!

「なぜ戦争が起きるのか?」「なぜテロが起きるのか?」「
「どうしたら世界に平和が訪れるのか?」「どうしたら人々
が幸せに暮らせるのか?」。今、世界で考えるべき問題で
す。バングラデシュのダッカで起きた飲食店襲撃テロ(7月
1日)やトルコ・イスタンブールのアタチュルク国際空港テ
ロ(6月28日)では、多くの死傷者がでています。

重要なことは、疑問を持ち続けることです。「なぜ?」と
いう疑問を持つことで、相手に、事柄に思いを馳せること
ができます。思いを馳せることが、考えるという行為に繋
がり、「どうしたらよいのか?」という解決に向けた思索に
繋がっていきます。

今、自分達が直面する問題に真正面から疑問を持
ち、解決策を模索していく、それが重要です。

思いを馳せる、考える、行動していく、それが学びに繋
がっていきます。

「疑うが故に知り、知るが故に疑う」、これは明治時代
の物理学者であり、随筆家の寺田寅彦の言葉です。

日々の生活のなかで多くの問いかけを自らに積極的に
発し、「なぜ?」という疑問に挑み続けて欲しいと望んでい
ます。



安城学園高等学校
校長 坂田 成夫

響きあうまちと学校

吹奏楽部

第57回定期演奏会

6月4日(土)・5日(日) 安城市民会館サルビアホール

心に響く音楽

普通科3年
山田 悠維
高浜中学校出身

定期演奏会の練習をしていく中、多くの壁にぶち
当たり、涙する部員がたくさんいました。しかし、本番を
終えた後の部員の顔には、流した涙を忘れさせるほど
の、笑顔が溢れていました。それは部員だけではなく、
お客さんも、私たちの練習の成果を認めてくれる
かのような笑顔でした。第57回定期演奏会は、私たちの演奏を聞いてくだ
さっている方々の、心に響く音楽を届けることができました。今後の演奏活動
も、心に響く音楽を目指して、活動していきます。また、第57回定期演奏会を
無事に終えることができたのも、たくさんの方々の支えがあったからこそです。
ありがとうございました。



憧れのファーストステージに立って

普通科1年
稲田 美雨
福岡中学校出身

まだ入部して2ヶ月で、迎えることになったファースト
ステージ。色々な不安とたくさんの期待を持って登っ
たステージはとても緊張しました。けれど最初の音を吹
いたとき、私もこの部活の一員になれたような気がしま
した。そこからは今までやったことを全て出し切るつもり
で夢中で吹きました。この2日間は私にとってかけがえのない時間となりました。
このステージに立てたのは、熱心に指導してくださった先生や先輩方、朝
早くから夜遅くまで私たちのことを陰で支えてくださった保護者のみなさん、そ
して演奏会に足を運んでくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。
このステージで思ったことと感謝の気持ち、そして音楽が好きという
気持ちを忘れずに日々精進していきます。



土曜講座

5月14日(土)、6月4日(土)

5月14日(土)に今年度第1回の土曜講座を開講しました。「楽しい体操教室」「ひ
よこちゃん英語」「楽しいカッティング工作」「絞り染め教室」「"かしわもち"を作ろう」
「フットサル体験教室」など8講座に100名を超える小学生・父母・市民らが参加して、
楽しく学び、体験をされました。年間8回開講予定でどなたでも参加できます。(開催日・
内容は公式web参照)



School Events

3月～7月の行事

2年生修学旅行

2016年3月11日(金)～14日(月) 北九州・屋久島・沖縄・北海道Aコース
2016年3月11日(金)～15日(火) シンガポールコース
2016年3月12日(土)～15日(火) 北海道Bコース

2年生修学旅行を終えて

3年学年主任 木全 孝次

本校の修学旅行は、北海道、北九州、屋久島、沖縄、シンガポールのコースから各自が選択して参加する方式です。各コースには、歴史や文化、平和や人権などの学習、ウィンタースポーツやマリンスポーツ、カヤックなどの体験、そしてホームステイなど現地の人たちとのふれあいなど、日常の学校生活ではできない学びが用意されています。その中で生徒たちは、多くの学びと人とのふれあいを感じてきたようです。このことは、きっと将来への意欲につながってくれると信じています。最後に、実施に際して、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。



国語科創造発表

2016年3月16日(水)
安城市民会館サルビアホール

安城学園の国語の授業では、ずっと以前から「表現」に取り組んできました。表現力は読解力とともに国語の重要な力です。小論文・作文・面接試験のために必要であるのはもちろん、社会人になっても必要とされる力です。そのためには、感じる力・考える力も必要です。「創造」ではそれらの力と同時に、協力する力も伸ばしていきます。

国語科教諭 廣中 隆一

創造は、表現を通して「伝える」ということを大切に行っている授業です。生徒自身が調べた内容を劇やプレゼン形式などで発表していきます。今年はほとんどのクラスが劇を取り入れ発表を行いました。最近問題となっている携帯電話の取り扱いについては複数のクラスが取り上げました。又、新たに導入されたマイナンバー制度についても事例を劇にし、より身近な問題として発表を行うことができました。特に最後に1年5組が発表した「難民問題」については演劇部の生徒を中心に迫真の演技で見ている人に、臨場感、緊迫感が伝わってくる非常に素晴らしい仕上がりになっていました。発表を通して改めて人に想いを伝えるということがいかに難しいことなのかを感じることができたと思います。その中で生徒自身が苦勞しながらも考え工夫を凝らした姿が見られたため、今年の創造発表会もよいものになりました。



2015年度 合唱コンクール

2016年3月17日(木)
安城市民会館サルビアホール



最優秀賞1年5組を指揮して

普通科2年5組

鬼頭 泉

東京日本橋中学校出身

私たちのクラスは、「言葉にすれば」を歌いました。最初がピアノなしのアカペラで始まったり、ソロがあったりしてすごく難しい曲でした。本番の前日にまさかのインフルエンザの流行で、欠席が出てしまうことがわかり、みんなすごく焦っていました。その時、大丈夫だよと声をかけてくれたのは担任の丸山先生でした。練習の時は写真ばかり撮っていた先生が、私たちを助けてくれました。そんな大好きな先生のために全力でやろうと決め、やり切ることが出来ました。1年生ラストの行事で担任の丸山先生に最優秀賞をプレゼントできて、本当に嬉しかったです。

最優秀賞1年5組で演奏して

普通科2年3組

吉原 真美

高橋中学校出身

私もみんなの力になれるように毎日練習をしました。本番でもみんながとてもよい表情をしていて、とても楽しく演奏することができました。このクラスじゃなかったら頑張れなかったし、クラスのみんなのために弾きたいと思ったのも、このクラスだったからだと思います。本番後にみんなで笑顔で撮ったあの写真は色んな思いが詰まった大切な一枚です。

リアル模擬選挙

2016年3月17日(木) 安城学園高校にて

2年学年会「リアル模擬選挙」

地歴公民科教諭 山盛 洋介

今年6月、改正公職選挙法が施行され、選挙権年齢が18歳に引き下げられることで、高校3年生の一部が実際に投票できるようになります。そこで、選挙とはどういうものかを体験するとともに、どう投票先を選択すればいいのかを考える機会となるよう、架空の選挙で実際に候補者を立て、選挙戦を展開するという取り組みを行いました。「北林あきら候補」「安藤ななこ候補」「あいざわ航候補」「くらの辰徳候補」の4名(届出順)が立候補し、「憲法」「安保」「原発」「子育て支援」「教育」などを争点として政策を打ち出しました。選挙ポスターや選挙公報、政見放送なども細部まで再現、「投票日」当日は選挙カーも繰り出での街頭演説や辻立ち、安城市選管からお借りした投票箱を使っでの投票など、本物の選挙かのような雰囲気。中日新聞、メ〜テレ、中京テレビが取材に入り、社会的にも大きく注目される取り組みとなりました。「出口調査」の結果、候補者を「政策・主張で選んだ」という生徒が半数以上で、生徒たちはしっかりと政策をみていることが明らかになりました。今後も、生徒たちと社会の“距離”を近づける取り組みを、積み重ねていかなければと考えています。



新入生歓迎会・創作ミュージカル一般公演

2016年4月9日(土) 安城市民会館サルビアホール

生徒会主任 和田 圭吾

4月9日(土)に新入生歓迎会が行われました。各部活の趣向を凝らした紹介やauのCMに登場する3太郎をモチーフにしたコミカルな学校紹介・行事紹介は1年生の緊張をほぐし、これからの高校生活の楽しさを伝えることができました。その後、第28次創作ミュージカル「金色の明日」が上演され、先輩たちが受け継いできた安城学園の自主活動の魂が1年生にしっかりと受け継がれたと思います。午後には一般公演が開かれ、ひたむきな演技と美しい歌が来場者の感動を呼びました。



来場者の感想

☐OBの方

「正義」という大きく難しいものを題材にしている、今現在問題になっている難民問題をととても良くまとめていると思いました。キャストの人もスタッフの人もとても素晴らしかったです。自分が出た時の記憶が蘇りました。とても良い舞台をありがとうございました。

☐他校生徒

自らの足で赴いて観に行く劇は初めてでした。実際みてみると、驚くようなものばかりでした。私はあまり拍手をしない方なのですが、予想以上の出来の良さについて拍手をし、同時に過去の作品や来年度の作品を観たくなりました。このような素晴らしい作品を見せていただき、本当にありがとうございました。

☐大学生

キャストのみなさんの表情も歌もとても良かったです!今、自分がなにを考えていかなければならないか考えさせられました。素晴らしいミュージカル見られてよかったです。ありがとうございました。

☐一般来場者

毎年公演されているのに、あまり観ることができませんでした。でも学内でいつも頑張っているみなさんの姿や気配は感じています。学校のイベントやこのミュージカルに携わることで皆さんの心が成長することを願ってやみません。役者の皆さん、スタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした!

☐一般来場者

面白かったです。先生たちのセリフはやはりすごく気持ちがこもっててさすがでした。生徒も頑張っていて、ダンスも精一杯やっていて見ていて楽しかったです。音声さんの近くにいたので、裏方の方々がたくさん動いていて、多くの支えがあってミュージカルが成り立っているのだと感じました。

☐一般来場者

久しぶりに若者の真剣な姿を見させて貰いました。もう一度見たいです。楽しいひと時に感謝いたします。

School Events

3月～7月
の行事



1年

伊藤 梨乃

電北中学校出身

舞台にいる全員が自分の役になりきっていて、難民の苦しさも伝わってきて、こんなに人を感動させられるものなのだと思います。また歌を歌う場面でも歌詞の意味を考えながら感情を込めて歌っていてとてもすごいと思いました。

1年

佐藤 美玲

東京都島山中学校出身

もともとミュージカルが大好きでアニーや劇団四季など沢山見たことがあります。そのため、どんな感じなのかとても楽しみにしていました。先輩方の演技や歌、ダンスなども上手くて驚きました。自分の担任の中村先生も最初に出てきて、足の引きずり方が絶妙に上手かったです! そういう細かいところもしっかり演技していて、どの場面でもセリフのない人の演技がとても上手で見ていて気持ち良かったです。



フレッシュマンキャンプ

第1パート 4月19日(火)～20日(水)
第2パート 4月20日(水)～21日(木)
大芝荘(長野県上伊那郡南箕輪村)
阿南少年自然の家(長野県下伊那郡阿南町)
駒ヶ根ふるさとの家(長野県駒ヶ根市)

新たな道を踏み出しました ～フレッシュマンキャンプを終えて

1年学年主任 鶴田 孝文

今までとはまったく異なる環境で高校生としての第1歩を踏み出した新入生たちは、とにかく不安でいっぱいです。高校生活とはどんなものなのだろう?学習にはついて行けるだろうか?クラブ活動は厳しいのか?そして何よりも学校生活の多くを過ごすことになる教室で友達はできるだろうか?クラスにはどんな子たちがいるのだろうか?そんな不安を少しでも早く解消して、高校生活に前向きに踏み出していくことがフレッシュマンキャンプの目的です。

生徒は討議やレクリエーション、3年生アシスタントによる話を通して、お互いのコミュニケーションをはかり、これからの生活へのよりどころとなる仲間作りをしていきました。それぞれの生徒が少しずつ勇気を持って歩み寄り、自分の居場所作りをし始めたのです。そしてその中で、これからの高校生活で自分が大切にしなければならないことは何なのか、高校生活の目標、それに対する決意などをそれぞれが考えることができました。

帰ってきた生徒の瞳が、出発前の不安げな光から自信に満ちた光に満ちたものに変化していることを嬉しく思います。ここからの3年間に期待しています。



1年
増山 大輔
蒲郡中学出身

2日間クラスの人々と過ごして、普段見えなかったことがたくさん見られたので、とても良い時間でした。1番印象に残っているのは先輩5人の話です。5人の先輩の話から、3年間いろいろな苦労があったけれど、挑戦する気持ちを忘れずにしてきたからこそ、今があるのだと思いました。今の自分は、挑戦せずに諦めてしまふことが多々あります。いつも自分は後悔してきたと思います。今からの3年間はそんな後悔ばかりではなく、挑戦をして、頑張っていきたいです。クラス目標にあった1年間を歩んでいきたいです。

1年
小笠原 早矢楓
鶴城中学校出身

私はFCに行くのが楽しみでした。何をするかはよくわからなかったけど、先輩が「FCのおかげでみんな仲良くなったし楽しかった」といっていたからです。一番ためになったのは先輩の話でした。今まで苦労したこと、高校で変わったこと、挑戦することの大切さを教えてもらいました。その中には部活の先輩もいました。先輩は中学が同じで前から知っていたけど、人見知りで苦労していたことは初めて聞きました。私も共感できる部分が多く、挑戦することによって変わったといっていたので、私もいろんなことに挑戦していきたいと思います。

生物セミナー

5月20日(金)～22日(日)
国立信州高遠(たかとお) 青少年自然の家(長野県伊那市高遠町)

昨年は設楽町『きららの里』にて実施した本セミナーですが、今年は国立信州高遠青少年自然の家にて生徒15名で開講させていただきました。氷河時代からの生き残りウスバシロチョウ、2000kmを旅するアサギマダラなどの貴重な蝶、野生のシカ、ニホンイモリなどに実際に会えることができました。夜の天体観測では、本格的な天体望遠鏡で、月のクレーター、土星の輪、木星とその衛星などを観測するなど教室では味わえない自然を経験することができ感動しました。本セミナーを通して、生徒の中に新たな発見や興味が芽生えてもらえれば幸いです。



3年
一見ひろ子
幡豆中学校出身

高校生最後の生物セミナー、国立信州高遠青少年自然の家で最初に見たのは、夜の森へ逃げていく野生の鹿の姿でした。二日目の朝から虫取り網を持ってロッジの周りを散策したところ、アサギマダラや昔から姿が変わっていない蝶などを捕まえることが出来ました。昼の散策は、森のなかを進んで、湖まで行きました。湖にはアカハライモリがいました。初めて野生のイモリを見つけたので、感動しました。夜はみんなでプラネタリウムで星座を見ました。北斗七星を中心に、いろいろな星座のことを学びました。最上階にある天体望遠鏡からは月の表面や土星を観測しました。とてもきれいでした。今回のセミナーの参加者は学年関係なく、楽しむことができました。3年間セミナーに参加できて良かったです。

生徒会リーダーズ合宿

5月28日(土)・29日(日) 愛知県青年の家(岡崎市美合)



生徒会、代議員、各学年の代表者会、学園祭実行委員の代表52名が岡崎の愛知青年の家で安城学園の未来について真剣に討論しました。先輩方・先生の話聞き、リーダーとは何か?想いを発信するために必要なことは?など様々な事に討論を通じて成長して帰ってきました。

体育祭

6月2日(木) 城南グラウンド



2016年度 体育祭全校総合優勝

普通科2年7組
山本 幸奈
竜北中学校出身

2年7組は、一人一人個性があって、明るく元気なクラスです。部活生が多くて運動が得意な人がたくさんいます。クラスの全員では参加できませんでしたが、競技に参加した人全員が全力でやることでできたから総合優勝できたと思います。2年7組は一つ一つの競技での優勝はありませんでしたが、どの競技でも均等に良い成績を残すことが出来ました。男子綱引きではみんなで声を掛け合い、一生懸命やってくれたと思います。リレーでは部活動に入っていない子も頑張ってくれました。控室からみんなが応援しているのを見て感動しました。今回の体育祭でみんなの仲が深まったと思います。次の行事ではさらに団結して頑張りたいと思います。



クラブ活動報告

2016年3月～6月

大活躍！陸上競技部報告

走高跳 2位 2m04

3年

杉本康拓
鶴城中学校出身

1年生でインターハイに出場したものの、2年生では足のケガで長い期間悔しい思いをしました。しかし、その悔しさが自分の強みとなり、今回の東海大会では、本来の自分の姿を取り戻すことができたと感じています。今回の試合の中ではアクシデントもありました。自己新記録となる2m07に挑戦するときに、スパイクが壊れ、競技を続けることができず途中棄権を余儀なくされました。自分の中では、2m10まで跳べる感覚があったので不完全燃焼で悔しい思いはありますが、インターハイ優勝という目標に向けてしっかりと改善していきます。

東海大会に出場した全員が全国を決めることができました。これはサポートや応援があったからこそ達成できたと思います。キャプテンという立場もある僕は、うまくまとめられないこともありましたが、毎日の出来事をノートに記入し、チームの状況が把握できるようになりました。陸上競技は個人競技ではなく、チーム競技であると思います。多くの支えてくださる皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、全国でも安学旋風を巻き起こしていきます。応援よろしくお願いします。



走高跳 3位 1m64

2年

菰田梨香子
大府中学校出身



私は東海高校総体3日目の走高跳に出場しました。チームではすでに私以外の全員がインターハイを決めているという状態での試合でした。プレッシャーもありましたが、私が決まれば全員のインターハイ出場という快挙が成し遂げられる!と思い頑張りました。3位入賞でインターハイ出場は決められたものの、記録は全く納得できるものではなく、悔しさの残る大会になったので、インターハイではその悔しさをぶつけ、ベストを狙ってみたいです。



4×100mR 5位 47秒03

3年

古賀珠那
竜北中学校出身

リレーは1走に2年生の江頭亜美、2走に私、3走に3年生の掛川菜、4走に2年生の古橋佳奈の4人で出場し、5位という成績を収めインターハイ出場を決めることができました。4月には私も含めケガなどが心配な選手ばかりでリレーが組める状態ではありませんでした。シーズン初めのタイムではインターハイという舞台はとても遠いものでしたが、日々の練習をコツコツ積み、少しずつ皆の調子も戻り、この東海大会では4人が4人ともベスト以上の走りでもパフォーマンスすることができました。インターハイまで、もう一段階レベルアップした走りができるように頑張ります。



**100mH 1位13秒91
4×100mR 5位47秒03**

2年

古橋佳奈
桜田中学校出身

100mハードルでは、自己新記録で優勝することができました。しかし、何より嬉しいのは、仲間の江頭亜美さんと一緒にインターハイ出場を決められたことです。大会前日「一緒にインターハイに行こう」と話し合い、気持ちを高めていました。走る直前、「佳奈ー!がんばれー!!」と応援の声が聞こえ、プレッシャーを自信に変えることができ、その日の1番の走りができました。本当に応援が力となりました。レースを終えて電光掲示板に「5位 江頭亜美 安城学園」と結果が表示されたとき、泣いて抱きつき喜びました。良きライバルであり、練習仲間として本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。



**1500m 3位 4分34秒68
800m 6位 2分13秒03**

2年

宇野佑紀
常磐中学校出身

1日目の1500m決勝はその日の最終種目となり、すでに安城学園の仲間がインターハイを決めておりプレッシャーはありましたが、気合も入りました。レースでは、はじめから積極的に前に出て攻めることができました。2日目の800mは気温も高くとてもきつい勝負でした。予選から1本1本集中して全力で走りましたが、6位という結果は悔しいものです。しかし今回の大会で課題が明確になったので、ここで気を引き締め直し、全国の舞台でしっかりと勝負していきます。



**砲丸投 1位16m36
ハンマー投 1位59m23
円盤投 3位43m27**

3年

白藤聖陽
矢作中学校出身

「東海地区を制する者は、全国を制する」と言われるほどハイレベルなこの地区で、勝ってきてくれた投擲ブロックの仲間を、僕は誇りに思っています。男子が16点、女子が13点を獲得し、目標にしていた「最強チーム」へと一歩近づきました。東海の舞台で安学旋風を巻き起こすことができたと思います。一人一人が情熱を失わずコツコツと毎日、技術を高めてきたから今回の結果につながりました。岡山の地では最高の状態で、最高の仲間と共に、最強チームで、最高の夢を叶えたいと思います。「The Biggest Dream Challenger」最大の夢に挑戦する者たちが安城学園の陸上競技部だと思います。



**砲丸投 6位 12m26
円盤投 6位 36m69**

3年

山浦あみか
六ツ美中学校出身

投擲ブロックの白藤聖陽くん、金子明奈さんが2年生の秋に全国入賞を果たし『私も負けていけない』『もうこれからは誰にも負けない』と覚悟を決め、必死に練習に取り組んできました。今回、ハイレベルな闘いの中、2種目でインターハイを決めることができたのは、仲間でありライバルでもある投擲ブロックのみんなと常に上を目指し、毎日勝つための練習をしてきたからです。みんながいなければ私はここまでできませんでした。私はこの仲間にとっても感謝しています。投擲ブロック以外にも応援してくださっている皆さんの期待に応えられるように岡山では最高の結果で恩返しします。



**砲丸投 2位 12m84
やり投 3位 44m68**

2年

近藤沙南
竜海中学校出身

インターハイへ2種目出場を決めることができたのは、投擲キャプテンの聖陽さんが「最強チームを作る」と目標を掲げ、導いてくださったから。また、あみかさん、明奈さんが砲丸3人でインターハイへ行こうと、競い合う練習をしてくださったから。また、サポートしてくれた仲間や、応援に駆け付けてくれた仲間や親、先生方のおかげです。本当にありがとうございます。

「私が2位以内に入らなくては」と臨んだ3日目のやり投げは3位。0.5点差で女子フィールド総合2位となり、先輩方に優勝をプレゼントできず、とても悔しかったです。先輩方への感謝を忘れずこれからの練習で精度をあげてみたいです。

私はマネージャーなので、表舞台に立つことはなく、裏から選手を支える立場です。主に練習時のタイム計測と選手の心のケアが私の仕事です。ケアの面では「話を聞く」「こと」「理解する」ことを心にとめ、選手がストレスをためないよう、柔らかな声掛けを心がけ、気持ちよく競技できる環境を整える努力をしました。試合中は付き添いの後輩に指示を出し、選手を送り出し、迎入れる準備を整え、大きなミスなくチームを支えることができました。皆、大活躍をし、見事全員インターハイを決めることができました。これまでの練習や試合の取り組みを見てきた私は、選手がいくつもの困難を乗り越え、たくさん成長したことを知っています。ハードルでインターハイを決めた古橋佳奈選手と江頭亜美選手が、私に笑顔で結果を報告してくれた時は、自分のことのように嬉しかったです。また、閉会式が終わって記念撮影をするときには、選手が総合の賞状を私に渡してくれ、一番前で写るように促してくれました。裏から選手を支える立場の私を、皆が表舞台に出してくれたのです。今年のインターハイは岡山県で開催されます。陸上競技部、皆の活躍を期待してください。

◇結果報告

・高校総体西三河予選会(4/29・30・5/1) 女子総合優勝 フィールド優勝・トラック2位／男子総合2位 フィールド2位・トラック4位

・愛知県高校総体(5/20～22) 女子総合2位・フィールド優勝／男子総合5位・フィールド2位

・東海高校総体(6/17～19) 男子総合4位・フィールド優勝／女子総合2位・フィールド2位

3年 白藤聖陽(矢作中)
優勝 砲丸投16m36
優勝 ハンマー投59m23
3位 円盤投43m27
3年 杉本康拓(鶴城)
2位 走高跳 2m04
3年 山浦あみか(六ツ美中)
6位 砲丸投12m26
6位 円盤投36m69

3年 金子明奈(安祥)
5位 砲丸投12m30
8位 円盤投36m46
3年 古賀珠那(竜北)
準決勝200m25秒21
2年 古橋佳奈(桜田)
優勝100m H13秒91
予選100m 12秒59

2年 宇野佑紀(常磐)
6位800m2分13秒03
3位1500m4分34秒68
2年 近藤沙南(竜海)
2位 砲丸投12m84
3位 やり投44m68
9位 円盤投34m56
2年 江頭亜美(竜高)
5位 100mH14秒38

2年菰田梨香子(大府北)
3位 走高跳1m64
4×100m R 5位47秒03
2年 江頭亜美(竜高)
3年 古賀珠那(竜北)
3年 掛川菜(栄)
2年 古橋佳奈(桜田)



バスケットボール部

6年ぶりの悲願!男女バスケがアベックで全国大会出場決定!!

女子バスケットボール部

第31回大阪招待高等学校バスケットボール大会 優勝!

4月3日(日)・4日(月) 大阪府民共済SUPERアリーナ・大阪市中央体育館(サブアリーナ)

- 1位 安城学園高等学校** 決勝では、静岡の浜松開成館を52-50で破り、優勝することが出来ました。納得の行く内容ではなく、多くの課題が残る大会となりました。その課題を一つ一つクリアしていくために、日々の練習に、一生懸命取り組み、インターハイに向けて頑張っています。これからも応援よろしくお願いします。
- 2位 浜松開誠館高等学校**
- 3位 大阪薫英女学院高等学校**

第70回愛知県高等学校総合体育大会決勝リーグ 男女とも準優勝 インターハイに向けて!

5月28日(土) 千種スポーツセンター



女子バスケットボール部

3年 荻野 桜
豊川一宮中学出身

私たち女子バスケットボール部は、千種スポーツセンターで行われた県大会で準優勝し、広島県で開催されるインターハイへの出場が決まりました。今年は4年連続での出場となります。昨年は2回戦敗退と悔しい結果で終わってしまったので、今年はその結果を超えられるように、1つ1つの試合を大切に、確実に勝ち進み、仲間と協力しあいながら、戦っていききたいと思います。インターハイに出場できるということに感謝し、日頃から自分たちのことを支えてくれている先生方や、保護者の方々、応援してくれている方々への感謝の気持ちを忘れず、試合に臨みます。日本一を目指して頑張るので、応援よろしくお願いします。



男子バスケットボール部

3年 山本楓己
豊川東部中学校出身

自分たち男子バスケットボール部は、千種スポーツセンターで行われた県大会で準優勝し、広島県で行われるインターハイへの出場が決まりました。今年は6年ぶりの出場となります。インターハイを経験したことがない分、他のチームより自信をつけて強い気持ちでプレーをし、思いっきりインターハイという舞台を楽しみたいと思います。そして自分たちの目標である、ベスト4を達成していきます。インターハイに出られるのも応援の力がすごく大きかったと自分たちは思っています。なので、これからも応援されるようなチームを目指し、日頃から自分たちを支えてくれている人たちへの感謝を忘れずに頑張ってくるので、応援よろしくお願いします。

ゲートボール部

第21回全国ジュニアゲートボール部大会にむけて

7月30日(土)・31日(日)

埼玉県熊谷市くまがやドーム

3年 伊藤 渚
前林中学校出身

私たちゲートボール部は、夏の全国大会へ出場することが決まりました。私も含め、全員が初心者であり、ルールもわからないようなスタートでしたが、地域の方々やこれまで教えてくださった先輩たちから学び、ここまで練習してきました。あまり知られていないですが、ゲートボールはチームスポーツです。指示を出す人、プレーをする人、それぞれに役割があります。私たちは全国大会で良い成績を残すため、一勝でも多く勝つことを目標にしています。それと同時に、これまで作り上げてきたチームワークを大切に、苦しい時も支えていきたいと思っています。熊谷市というとても暑い市で行われる大会で、私たちも負けることないくらい熱い試合ができるよう、残りの練習時間を大切に、チームの仲間と共に頑張ります。応援よろしくお願いします。



女子サッカー部

第70回愛知県高等学校総合体育大会準優勝!

6月4日(土) 口論義運動公園

2年 榎本 梨乃
西尾中学校出身

新1年生8名を加え総勢24名で総体県大会に臨みました。春日井商業と菊里を破り決勝トーナメント進出。怪我や好不調の波がある中、準々決勝では椋山女学園に3-1の快勝、準決勝では南山に2-0の完勝。そして6月4日、ライバル聖カピタニオ女子と3大会連続の決勝対決。何度も攻め込む時間がありましたが、終了間際に追加点を許してしまい、0-4で敗北を喫し準優勝でした。しかし今までの決勝で最も手応えを感じることでできた試合でした。自分達の課題を見つめ直し、現状で満足せず、次の大会ではリベンジして愛知県1位になりたいです。これからも全員で『強く、魅力的で、やりがいのあるサッカー』を目指して日々努力していきます。



—— 1学期大会・試合結果 ——

◇男子バスケット部

- ・高校総体西三河予選 優勝(4/23・24・29)
- ・高校総体愛知県大会 準優勝(5/21・22・28)
- ・高校総体東海大会 ベスト8(6/11・12)
- ・中国インターハイ 出場(7/31～)

◇女子バスケット部

- ・第31回大阪招待高等学校バスケットボール大会 優勝(4/3・4)
- ・高校総体西三河予選 優勝(4/24・29)
- ・高校総体愛知県大会 準優勝(5/21・22・28)
- ・高校総体東海大会 ベスト8(6/11)
- ・中国インターハイ 出場(7/31～)

◇ソフトボール部

- ・第61回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会出場(3/25～29)
- ・高校総体西三河予選 優勝(4/18～26)
- ・高校総体愛知県大会 ベスト8(5/28～6/4)

◇卓球部

- ・高校総体西三河予選 団体 準優勝(4/29)
- ダブルス 準優勝(4/30) 3年 濱口乃愛(六ツ美)・東野望(設楽)
- 第3位(4/30) 1年 調子楓(一色)・野田実里(蒲郡)
- シングルス 第2位(5/1) 3年 濱口乃愛(六ツ美)
- 第3位(5/1) 1年 調子楓(一色)
- ・高校総体愛知県大会 団体 ベスト8(5/21)
- ダブルス 2回戦敗退(5/22)
- シングルス 3回戦敗退(5/28)

◇バレーボール部

- ・高校総体西三河予選 第3位(4/29 30)
- ・高校総体愛知県大会 出場(5/21)

◇ハンドボール部

- ・高校総体西三河予選 2回戦(4/29)

◇バドミントン部

- ・高校総体三河予選(4/23・24・29・30・5/1) 女子団体5位 県大会出場
- 女子ダブルス ベスト16 2年 佐久間璃子(大府北)・2年 藤網玲奈(東山)県大会出場
- ベスト16 2年 大城憂奈(矢作)・1年 棚瀬茉亜奈(大府)県大会出場
- ベスト16 2年 小田朱莉(大府)・1年 加藤真奈美(大府北)県大会出場
- ・高校総体愛知県大会(5/21・22) 女子団体 ベスト16
- 女子ダブルス 1回戦 2年 大城憂奈(矢作)・1年 棚瀬茉亜奈(大府)
- 1回戦 2年 小田朱莉(大府)・1年 加藤真奈美(大府北)
- 2回戦 2年 佐久間璃子(大府北)・2年 藤網玲奈(東山)

◇野球部

- ・平成28年度春季西三河高校野球大会 準優勝(4/1)
- ・第66回愛知県高等学校優勝野球大会 2回戦(4/16)
- ・第134回全三河高校野球大会 ベスト4(6/4)

◇男子サッカー部

- ・高校総体西三河予選1回戦(4/16)

◇女子サッカー部

- ・高校総体愛知県大会 準優勝(6/4)
- ・県高校リーグ1部(6月～12月)
- ・東海プリンスリーグ2部(6月～12月)

◇ソフトテニス部

- ・高校総体愛知県大会 団体・個人出場(5/21・22)

◇男子硬式テニス部

- ・高校総体西三河予選 個人戦シングルス ブロックベスト4(4/16)
- ダブルス ブロック準優勝(4/23)

◇女子硬式テニス部

- ・高校総体西三河予選 団体戦・個人戦出場(4/16～29)

◇ダンス部

- ・全国高等学校ダンスドリル選手権東海大会第6位(6/11)

◇アーチェリー部

- ・愛知県高校春季アーチェリー大会 男子3名 女子1名 予選通過(4/29)
- ・高校総体愛知県大会 3年 久米美歌(東浦北部)5位入賞(5/15)
- 2年 海野直幸(安城北)6位入賞(5/15)
- ・高校総体東海大会 3年 久米美歌(東浦北部)出場(6/18)
- 2年 海野直幸(安城北)出場(6/18)

◇器械体操部

- ・高校総体西三河予選 個人女子 総合優勝 県大会出場
- (種目別 跳馬・平均台・段違い平行棒 優勝)
- ・高校総体愛知県大会 17位 1年 平野玲菜(矢作)

◇クライミング部

- ・IFSCクライミング・ワールドカップ(B) 加須2016 (4/23・24) 1年 倉 菜々子(刈谷南) 世界35位
- ・全日本クライミングユース選手権ボルダリング競技大会2016 (5/14・15) 1年 倉 菜々子(刈谷南) 全国5位
- ・第30回リード・ジャンパカップ (6/11・12) 1年 倉 菜々子(刈谷南) 全国35位

スポーツクライミング

- ◆IFSC クライミング・ワールドカップ(B)
加須大会
4月23日(土)・24日(日) 35位
- ◆全日本クライミングユース選手権
ボルダリング競技大会
5月14日(土)・15日(日) 5位
第30回リード・ジャパンカップ
6月11日(土)・12日(日) 35位

IFSCクライミング・ワールドカップ出場！ 1年8組 倉 菜々子(刈谷南中学校出身)

私は、スポーツクライミングをしています。4月ボルダリングワールドカップ加須大会、5月ユース選手権ボルダリング競技会、6月リード・ジャパンカップに出場しました。クライミングは壁に取り付けられたホールドを掴みながら設定された課題を登る競技です。

ボルダリングは高さ4～5mの壁に設定された複数の課題を登り、登り切れた本数を競い、リードは15mの壁を登り、その高さを競います。

クライミングの楽しさは登れなかった課題が登れた時の達成感です。まだまだマイナススポーツですが、東京オリンピックの候補にもなっており、クライミングジムも増えています。8月のJOCジュニアオリンピックカップでの上位入賞と10月の国体出場を目指し練習しています。多くの人にクライミングを知ってもらい、応援していただけるように頑張ります。



留学生紹介

英語コース3年1組 アマンダ・ケイ・フィッシュ
(アメリカ合衆国ウィスコンシン州出身)

みなさん、こんにちは。私の名前はアマンダ・ケイ・フィッシュです。実は7月2日(土)にアメリカに帰国しました。ですので、これはみなさんへのお別れのメッセージになります。日本に来た去年(2015年)の9月、私はとても緊張していたけれど、安城学園高校の皆さんが元気に挨拶してくれたので安心することができました。言葉の壁がありましたが、授業中に先生方は、時々英語で教えてくれました。また、学校生活では、たくさんの生徒の皆さんが通いすぎりに“Hello”と声をかけてくれたので元気ができました。クラスメートとは、授業や体育、ランチタイムなど一緒に楽しい時間を過ごすことができました。そして学園祭や体育大会などを通して日本の高校生と同じ体験がたくさんできて嬉しかったです。修学旅行では、北海道の気候が自分の住んでいたウィスコンシン州と似ていたので、懐かしかったです。そしてスキーやショッピング、食べたことのない札幌ラーメンを食べました！1年前日本に来た時は、カルチャーショックがあったけれど、この留学が自分の人生にとって素晴らしい経験となりました。私にとって一生の宝物です。

安城学園高校のみなさん、先生方、そして英語コース3年1組のみなさんありがとう！



前期生徒会紹介

前期生徒会方針は「OHANA」です。「OHANA」はハワイ語で血縁関係を越えた家族という意味があります。また、“O”はつながりの輪を表現しています。そして、アルファベット一文字一文字には、“O”応援し合える、“H”helpで困っている人を助ける。“A”あいさつを通して明るい学校に、“N”now,newで今に目を向けて新しいことに挑戦する、“A”ありがとうを忘れない、という意味が込められています。今期はこの方針のもと、人と人とのつながりを大切に、できるだけ多くの生徒の意見を取り入れられるよう努めていきます。

前期生徒会メンバー紹介

生徒会長	3年	平井 那衣梨	(梅坪台中学校)
副会長	2年	星野 紗那	(幸田中学校)
書記	2年	高村 奈津美	(上郷中学校)
会計	3年	内田 奈友	(福岡中学校)
会計	3年	堀江 美波	(安城西中学校)
渉外	2年	中川 美々	(朝日中学校)
渉外	2年	矢野 朋美	(豊明栄中学校)

